

# 伊深 まちづくり 協議会だより

※ ペンネーム: めいみ

2026(令和8)年6月1日発行  
伊深まちづくり協議会  
ホームページ

<https://ibuka-machizukuri.com/>

【公式】Instagram  
ibuka\_machizukuri

ギャラリー伊深【公式】Instagram  
gallery\_ibuka

第146号



IBUKA\_MACHIZUKURI

## 報告

## ギャラリー伊深で「エンネさんの日曜学校」展示中！



佐野康雄さん

当協議会の堀畑副会長が、佐野エンネさんの日曜学校で使われていた黒板が弘法堂にあることを、えんねさんの長女 川端春江さんの著書、『ははそはの記ー母えんねの生涯ー』で知った。

そこには、「1947年頃から日曜日の朝、隣接の弘法堂で近くの子どもたちに、一彦が国語を、えんねがローマ字・英語を教えた。村の人は『さのさんの日曜学校』と言った。～(中略)～この日曜学校は晩年まで続いた。弘法堂には黒板の母の文字が今もそのまま遺っている。」と記述されていた。



堀畑副会長は早速、佐野康雄さんに連絡を取り、弘法堂を見せてもらおうと、黒板は残っていましたが、腐り傷んだ状態でした。堀畑副会長自身も小学生の頃、エンネさんの日曜学校に通っていたこともあり、たくさんの思い出があったとのこと。そこで、黒板を預かり、背面の修復作業をし、表面をアクリル板でカバーして自力で修復をしました。

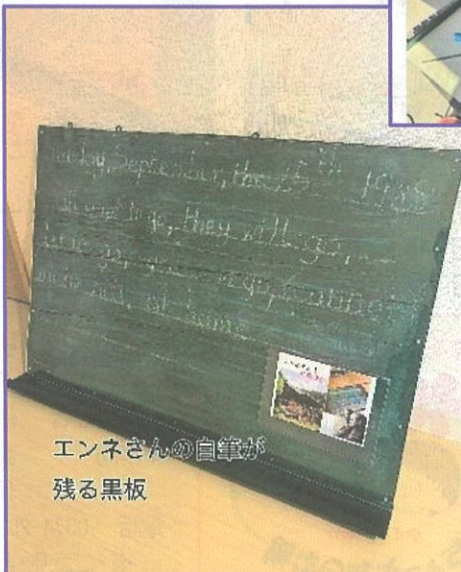
日曜学校に通っていた記憶のある人が上切や下本郷にも、何人かいて、当時のことを思い出し、懐かしく話して下さる人もありました。6月末までギャラリー伊深で展示をしていますので、是非多くの方々に見ていただき、佐野一彦先生、エンネ先生の功績に想いを馳せていただければと思います。



黒板  
修復作業



エンネさんの  
日曜学校



エンネさんの自筆が  
残る黒板



弘法堂

エンネさん

このさんの「日曜学校」は、この弘法堂の中で行われていた



## 報告

# 伊深小5年生の稲作教室（田植え）の お手伝いをしました！

5月18日（月）に、伊深小学校5年生10人（2人欠席）が初夏の晴天のもと、稲作教室（田植え）を行い、下町おやじの会等のメンバーがお手伝いをしました。あきさかりの苗を分けてもらい、なまぬるい田んぼへ。恐る恐る足を入れる子どもたちが多い中、「昨日おばあちゃんと田植えの練習してきた」という子もいました。田植えが初めての子も、メンバーから植え方を教えてもらいながら、手分けして田植をしました。用水路の冷たい水で足を洗う頃には、どこか満足げな表情になっていたのが素敵でした。質問の時間には、「収穫はいつなのか？」「この田んぼでどれくらいのお米がとれるのか？」「田植えに使う道具は？」「田植えで工夫していることは？」「田植えの時期は？」「やっていて楽しいことは？」などたくさんの質問がありました。子どもたちは月末には郷土食講習会で、朴葉寿司作りにも取り組みます。また、秋には稲刈りの体験を行うなど稲作について学ぶ授業が続きます。



## 報告

# 「いぶカフェの池」に色コイを放流しました！

4月13日（月）いぶカフェの前の池にほくぶ保育園の園児が見守る中、色コイを放流しました。先住の黒いコイと一緒に元気に泳いでいます。いぶカフェにお越しの際には、仲良く泳ぐコイをお楽しみください。



## 今後の予定

- 6月に以下の事業を実施する予定で進める（一部協力する）ことにしました。
- ・6月1日 ほくぶ保育園・伊深小のさつまいも苗挿し（下町おやじの会）
- ・6月6日 伊深ホテルコンサート

## 生活の中で、何かお困りごとはありませんか？

ごみだしなど、ちょっとしたことならお手伝いさせていただきます。遠慮なく、各地区の「（ちょっとたのお輪）連絡員」または下記にご相談ください。

080-1561-4013



伊深まちづくり協議会だより 第146号

2026. 6. 1発行（毎月1回1日発行）

発行責任者 伊深まちづくり協議会 会長 小林 喜典

事務局 美濃加茂市伊深町927-1

伊深交流センター内

電話 0574-29-1395 FAX 0574-29-0001

※ ご意見・お問い合わせもこちらまで

